

## 【C分科会】

### 生涯学習の基盤としての学校図書館

《C-小 発表1》

## 「自立的な読み手を育てる読書活動の推進～学校・家庭・地域が共に進める読書活動」

広島県 安芸郡 府中町立府中小学校

### 1 はじめに

本校は、児童数 836 人、学級数 27 の大規模校である。平成 30 年度に校長として赴任し、読書活動を推進してきた。国立青少年教育振興機構による調査では、子供のころの読書活動が成人になつての「自己理解力」（自己探求・自尊感情・充実感など）、「批判的思考力」（論理的・内省的・問題解決力など）、「主体的行動力」（意欲・将来展望など）のいわゆる意識・非認知能力に影響を与えていると報告されている。読書活動を基盤として、児童の語彙を増やすことが、表現力の育成につながるるとともに、たくさんの本との出会いにより、ものの考え方や感じ方が豊かになることが自尊感情を育成する基盤になると考え、読書活動を推進してきた。平成 30 年度は、コミュニティ・スクールの強みを生かした図書ボランティアによる読書環境の整備に取り組み、令和元年度は、子供の読書量を増やす取組と子供たちの自治活動による読書活動の推進に取り組み。並行して、授業では、読書活動を取り入れたカリキュラム・マネジメントに取り組み。この実践については、広島県教育委員会の HP「夢あふれる学校図書館」に掲載されている。令和 2 年度は、コロナ禍の中、新しい生活様式の中での読書活動として、図書ボランティアによる校内 7 か所の読書スペースを利用した分散型図書室での読書活動の推進が広島県教育委員会の HP「夢あふれる学校図書館」「やってみませんか、学校まるごと図書館」に掲載されている。令和 3 年度は、文部科学省の委託を受け、「新しい生活様式」を踏まえた読書活動のモデルの構築に向けた取組を進めている。

### 2 研究の概要

- (1) 読書活動を取り入れたカリキュラム・マネジメントによる授業実践
- (2) 読書のモチベーションをあげる子供たちの活動
- (3) 家庭・地域との連携（コミュニティスクール活動の一環）  
～学校まるごと図書館のための環境整備～

### 3 成果と課題

- カリキュラム・マネジメントにより、教科の学習内容や「いのちの教育」の学習内容に関連する読書活動が展開できるような単元開発を行ったことで、読書に親しむ児童が増え、令和 3 年 2 月の調査では、1 ヶ月に 3 冊以上の本を読む児童が 98.5% だった。また、図鑑や百科事典、辞典、参考文献で調べる学習に必要な書籍を、児童に身近なところに設置したことで、情報収集・整理・分析、レポート作成等に児童が積極的に取り組むようになった。
- 令和元年度～令和 2 年度の保護者アンケートにおいても「読書貯金の取組で我が子は本を読むことが好きになりました。」「我が子は図書室へ行くことが増えました。」などの声があり、特に「読書活動の推進」に関わる項目では、「とてもそう思う」とする肯定的回答が 99.1% だった。
- 令和 3 年度児童生徒学習意識等調査での読書活動に関する 4 つの項目全てにおいて、肯定的回答が広島県平均を 12～16 ポイント上回り、「本を読むのが好きです。」「本を読むことで、自分の知りたいことがわかったり、自分の考えが広がったりすることがあります。」の項目については、それぞれ 91.0%、91.7% だった。
- 今後も継続して、心の居場所としての読書センター、必要な情報を収集・選択・活用することができる力、自ら課題を解決する力を育てる学習・情報センターの機能を高めることで、生涯にわたって学び続ける基盤を養うことができるかを検証する。